

垂水会 舞子駅周辺ガイド 活動現場報告

垂水会ニュースの地域活動の紹介シリーズの第3弾は、舞子駅周辺ガイドです。

JR 舞子駅周辺は、東西に走る国道2号線で海岸部と山側に分断され、南北に走る明石大橋（淡路・四国行高速バス乗り場）がはるか上空を立体交差するという地勢で、初めての訪問者にとっては戸惑いを禁じえません。当然、案内板が設置されていますが、平面表示と実際では感覚が異なりそれだけでは確信を持っていないものです。そんな戸惑いのある人を見つけるとさりと声を掛け、目的地までの道順を案内したり、乗り場まで連れて行ってあげたりするのが舞子駅周辺ガイドです。

旅行シーズンの3月半ばから12月中旬までの土日祝日10:00～12:00まで、JR舞子駅南側と北側の2か所に分かれて活動しております。現在25名のメンバーが4名程度で6班に分かれて、月1.5回／人程度の頻度で活動しておられます。



舞子駅からの明石大橋



我々が取材した9月24日（土）は、澤田、小泉、村松3氏が担当され、北側26件、南側6件の案内がありました。北側では、高速バス乗り場、舞子ビラへの問い合わせが多いそうです。外国人観光客では、圧倒的に中国人（含む台湾人）が多いそうですが、最近では自分達のスマホで道順を確認するケースが増えておるそうです。

お三方それぞれに活動への参加の意義をお聞きしましたが、異口同音に感謝の言葉を聞いた時に僅かでも世の中に恩返し出来ているという喜びが一番だそうです。そして外へ出て人と会話をすることにより周り回って自分の健康維持に役立っているとおっしゃっておられました。

どんなボランティア活動でも、感謝の言葉に自分の達成感の喜びを満たされ、そして心身の健康づくりにも役立てられている様です。悩みは、やはり後継者が入ってくれないことだそうです。

「観光ボランティアガイドより気軽にできるので是非ご参加ください！！」との伝言です。

（文責 田中栄雄 広報担当）